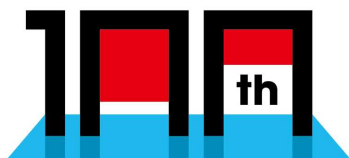


最優秀賞



荒川放水路
通水100周年記念

【コンセプト】

100のゼロを「旧岩淵水門」に見立てました。
これまで一度も決壊することなく、荒川下流部流域の生命財産を守り続けてきた荒川放水路。

これからも沿川都市の発展を支え続けていくという意味を込めて、全体を堅固なフォルムにしました。

優秀賞(第2位)



【コンセプト】

荒川放水路と岩淵水門、そして隅田川から東京湾へと繋がる水資源ネットワークは、通水以来100年間の長きにわたり、花火に象徴される都心の文化的な暮らしを守り育て、首都圏の経済発展を支えてきました。

これからの100年に向けて、水資源ネットワークの社会・経済・環境的な価値を見つめ直し、全員参加の流域治水の意識で暮らしの中にもうまく取り込むことによりwell-beingな未来を実現していくイメージをデザインしました。

優秀賞(第3位)

荒川放水路通水



【コンセプト】

100の「00」の数字が、荒川放水路の「放水、水の流れ」をイメージしており、その水、川の流れが「無限大」の形ををしており、荒川放水路が、長く人やまちのために活躍しつづけることを願い、人、まちの健康が無限に続くことを願ってこのデザインにしました。

【キャッチコピー】

「百年の想い 100年の未来」

百年の想い（過去から現在までの感謝、過去からを漢数字で表記）

荒川放水路建設から現在まで荒川放水路のために尽力された全ての方々への感謝

100年の未来（未来へのメッセージ、未来へを算用数字で表記）

「私はこの世を私が生まれたときよりもより良くして残したい」の心持ちで、治水・環境・利用（賑わい）を流域全体by allで推進し、より魅力的な“荒川放水路”を目指す

サブタイトル

～荒川にかかわる全てのひとへの感謝を
荒川とまちをより良くするために～

百年の想い（過去から現在までの感謝、過去からを漢数字で表記）

荒川放水路建設から現在まで荒川放水路のために尽力された全ての方々への感謝

- ・放水路建設のためには転居せざるを得なかったの方々もおり、中には工事反対の嘆願書や、陳述書を提出されたという記録も残っています。こうした方々や工事関係者の苦労や協力があったことにより荒川放水路は完成しました。
- ・完成後も様々な方々が荒川放水路に個人や団体、組織として関わってこられ、そうした方々の力で荒川放水路は完成後一度も決壊することなく、沿川都市の持続可能な発展を支え、荒川下流部の貴重なオープンスペースとして地域に寄り添ってきました。

100年の未来（未来へのメッセージ、未来へを算用数字で表記）

「私はこの世を私が生まれたときよりもより良くして残したい」の心持ちで、治水・環境・利用（賑わい）を流域全体by allで推進し、より魅力的な“荒川放水路”を目指す

- ・「私はこの世を私が生まれたときよりもより良くして残したい」（原文“I wish to leave this world better than I was born.”）荒川放水路建設工事に多大なる貢献をした青山士が生涯の信条としたイギリスの天文学者ジョン・ハーシェルの言葉。
- ・より魅力的な荒川放水路を未来に残すためには、荒川に関わるすべての人が青山士と同様の心持ちで、治水・環境・利用（賑わい）の取組を流域全体by allで推進することが大切です。